

東海国立大学機構 環境報告書 2025

ENVIRONMENTAL REPORT



CONTENTS

機構長あいさつ	1	5 環境に関する社会貢献活動	38
TOPICS	2	オープンイノベーションによる	38
Common Nexus OPEN!	2	持続可能な社会の実現へ	
カーボンニュートラル推進室の取組	6	名古屋大学フューチャーアース研究センター	
カーボンニュートラルロードマップ	8	公開シンポジウム 2024	39
省エネアクト for ゼロカーボン	10	「No Ocean, No Life」	
キャンパスの取組		シンポジウム 2024「明日の変環社会」の開催	39
AWARDS	12	探求人ガイダンス「環境報告書を読んでもよう」	40
岐阜大学学長・名古屋大学総長	13	ぎふ理系はばたき応援プロジェクト	40
メッセージ		ぎふハイスクールサットプロジェクト	41
1 東海国立大学機構概要	14	考えよう SDGs! エコ活動啓発ポスター・	41
CAMPUS MAP	14	川柳コンクール	
2 環境管理体制と環境方針	16	SDGs を「自分ゴト」に一岐阜大学が	42
東海国立大学機構の環境管理体制	16	地域とともに進める持続可能な未来づくり	
環境方針	18	絶滅危惧種ライチョウの関心を岐阜県で	43
2024 年度の環境活動目標と活動報告	19	高めさらに保全を進める	
3 環境研究	20	環境マネジメントの取組	44
ナノ空間を用いて分子を選別	20	学生の活動	46
～環境にやさしい次世代の分離技術～	20	学生編集委員企画	50
森林溪流水の水質を空間的にとらえる	22	6 環境マネジメントデータ	52
コンクリーション化(化石化)に学ぶ	24	7 評価	58
～超長期岩盤シーリング剤の開発と実用化～	24	環境コミュニケーション／富山大学	58
カーボンナノチューブ電極を用いた		環境コミュニケーション／	59
有機系太陽電池：日常空間で使う	26	(株) JERA 碧南火力発電所	
エネルギーデバイスの可能性		第三者評価	60
従業員は「サステナビリティ経営」を	28	環境省 環境報告ガイドライン	61
受け入れていない?!		(2018 年度版)による項目	
ウミウシに「誤解」するゴカイ?	29	地球温暖化対策、持続可能性をめぐる世界、	62
菅島海から新属新種の発見		日本、東海国立大学機構の動き	
4 環境教育	30	表紙作品の公募について	64
アカデミックセントラル	30	編集後記	64
講義「地域と環境 SDGs」	32	環境報告書 2025 編集チーム	65
環境リスクとの向き合い方	33		
卒業生の活躍	34		

環境報告書の作成にあたって

本報告書は、東海国立大学機構の環境に関する幅広い取組を広く内外に公表することを目的としています。

なお、「環境情報の提供の促進等による特定事業者の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法）」に準拠し、環境省の「環境報告ガイドライン（2018年度版）」を参考に作成しています。

また、持続可能な開発目標（SDGs）の「世界を変えるための17の目標」で示されているアイコンに関連する記事に示しています。

(<https://www.env.go.jp/earth/sdgs/index.html>)

- 対象範囲 国立大学法人東海国立大学機構
岐阜大学 柳戸・加納等国内全地区 名古屋大学 東山・鶴舞・大幸・東郷等国内全地区
- 対象期間 2024年4月～2025年3月（但し、一部の内容については対象期間以外の取組も含みます）
- 発行期日 2025年9月30日